

第2号様式（第3関係）

第1回豊山町総合計画審議会議事録（公開用）

1 開催日時

令和5年12月19日（火）午後2時から午後4時30分まで

2 開催場所

会議室1

3 出席者（敬称略）

（1） 委員

井上愛子（名古屋大学未来社会創造機構 特任講師）

豊田洋一（中部大学 名誉教授）

安藤定雄（文化協会 会長）

上田秀卓（JA尾張中央豊場支店 支店長）

河村清志（防犯協会 会長）

鈴木育生（子ども会連絡協議会 副会長）

水野典昌（公益社団法人豊山町シルバー人材センター 会長）

水野美代子（とよやま女性の会 会長）

山田賢治（JA西春日井青山支店 支店長）

山田敏文（商工会 会長）

渡辺博史（交通安全協会 会長）

竹内智恵子（公募）

渡邊勝利（公募）

小形 浩（三菱重工業株式会社 総務部 総務第一グループ グループ長）

（2） 欠席者（敬称略）

池山和徳（社会福祉協議会 会長）

井上輝海（老人クラブ連合会 会長）

坪井純一（体育協会 会長）

小坂芳則（セントライ青果株式会社 代表取締役社長）

（3） 事務局

企画調整部長 小川徹也

企画課長 松井良廣

企画課企画・広報グループ 荒尾竜也
企画課企画・広報グループ 大野隆一郎

4 協議事項

- (1) 第5次総合計画後期基本計画の策定について
- (2) 前期基本計画における事業の現状と課題について

5 会議資料

- (1) 第1回 豊山町総合計画審議会 次第
- (2) 豊山町総合計画審議会委員名簿
- (3) 配席表
- (4) 資料1 豊山町総合計画審議会条例・規則
- (5) 資料2 第5次総合計画後期基本計画の策定について
- (6) 資料3 前期基本計画における事業の現状と課題について
- (7) 資料3別紙 前期計画における事業の現状と課題 参考データ
- (8) 参考資料1 第5次総合計画前期基本計画の総括（評価）について
- (9) 参考資料2 町民意識調査 調査票
- (10) 豊山町第5次総合計画（冊子）

6 内容

- (1) 町長あいさつ

【町長】 平素より事業へのご理解をいただき、心よりお礼申し上げます。

第5次総合計画は、令和2年から令和11年の10年間の計画となっており、令和6年度で前半計画期間が終わります。後期計画を策定するにあたり、反省点や強化点について、皆さまのお知恵をお借りしたいと存じます。

第5次総合計画は、新型コロナウイルス感染症の影響がない時点で策定したものです。コロナを契機として、社会的格差が拡大しました。特に、女性と子どもへの影響は大きく、出生数が激減しました。豊山町では、通常だと毎年150人程度の出生がありましたが、コロナに入り120人に落ち込み、昨年は100人台となりました。今年度も上半期で50人前後となっています。国では異次元の少子化対策を進めていますが、出生数が増える手立てが見えてきません。これからは、女性や若い世帯がいかにも子どもを持ちたいと思える社会を築けるかどうかをキーポイントとなります。また、75歳以上の団塊の世代の高齢者の増加についても対策が必要となります。さらに、円安の影響

で経済面での大きな懸念があります。そのような中で先を見据えていく必要があります。

また、愛知県が整備を進めている広域防災拠点は、20ヘクタール規模の整備事業であり、豊山町の風景が変わります。さらに、中学校も小学校も築60年を迎えるなど、施設の老朽化も課題です。そのような動きも見据えて新しい視点を入れていきたい。本日は白熱した議論をよろしくをお願いします。

(2) 委員・事務局紹介

(3) 豊山町総合計画審議会条例等について

【事務局】 (資料1の説明)

本日の出席委員は、18名中14名です。豊山町総合計画審議会規則第4条第2項の規定に基づき、過半数の出席がありますので、会議の成立を報告します。

(4) 会長、職務代理者（副会長）の選任

【町長】 会長及び職務代理者を選出させていただきます。

平成30年度から令和元年度にかけての審議会では、豊田委員に会長を、池山委員に職務代理者をお勤めいただきました。このたびの審議会では、総合計画の中の後期計画をご審議いただくということから、今回も豊田委員に会長を、池山委員に職務代理者をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【委員】 (異議なし)

【町長】 皆様の賛同をいただきましたので、豊田委員に会長を、池山委員に職務代理者をお願いします。

(5) 会長あいさつ

【会長】 総合計画は豊山町の将来を描く大事なものです。ここにいる委員の皆様は豊山町の各種団体に所属してリーダーシップを発揮され、豊山の将来に深く関わる方々です。私自身は春日井市に住んでいるおり、豊山町に住んでいないと分からないことがたくさんあります。私は議事進行に徹し、委員の皆様から忌憚のない意見をいただきたいと思っております。

(6) 協議事項

① 第5次総合計画後期基本計画の策定について

【会長】 協議事項「(1) 第5次総合計画後期基本計画の策定について」事務局より説明を求めます。

【事務局】 (資料2の説明)

【会長】 ただ今の事務局の説明について、ご意見やご質問はありますか。

【A委員】 資料2の2頁で、「基本構想は変更しないこととします」とありま

すが、私たちは何を審議すればよいのですか。

【事務局】 総合計画は、10年間を計画期間とする基本構想と5年間の前期・後期の計画期間で構成される基本計画とに分かれています。今回は基本計画の後期計画についてご審議をいただくものです。

【A委員】 策定の基本方針について、「④豊山町の強みを最大限に引き出す施策を検討します」とありますが、豊山町の強みは何を想定しているのですか。

【事務局】 豊山町の強みは色々ありますが、例えば、空港が立地していること、また北部市場や航空ミュージアムといった特色ある施設が立地していることは大きな強みと考えています。また、当町は愛知県で面積が一番小さな町です。住民同士の顔が見える、顔見知りになりやすいといった特徴も強みだと認識しています。

【A委員】 空港の立地がどれくらい豊山町民に影響があるかよく分かりません。また、豊山町の「弱み」もしっかりと把握したうえで、検討すべきではないでしょうか。

【事務局】 豊山町第5次総合計画(冊子)の7頁以降で「豊山町の現状と特性」として、強みと弱みを整理しています。参考にしてください。

【A委員】 確認しておきます。

【会 長】 他に何かご質問がありますか。

【委 員】 (発言なし)

【会 長】 ご質問等ないようですので、資料2については、説明のとおり進めさせていただきますこととします。

② 前期基本計画における事業の現状と課題について

【会 長】 協議事項「(2) 前期基本計画における事業の現状と課題について」事務局より説明を求めます。

【事務局】 (資料3及び参考資料1、参考資料2の説明)

【会 長】 ただ今の事務局の説明について、ご意見やご質問はありますか。内容が広範で議論がしにくいため、目標ごとに分けてご意見をいただきます。まずは、「豊山町を取り巻く社会的変化とまちづくりの主要課題」および各データ等についてご質問、ご意見等がありますか。

【B委員】 参考資料1の評価のABCは誰がどのように出しているのですか。

【事務局】 庁内の各部局が自己評価したものとなります。施策の目的・概要に従って実施できたかどうかを評価しています。

【C委員】 AやBだと内容が全く分からないので評価に対するコメントを求めます。資料3の4ページ目以降の「前期計画期間における前期計画の主な取組と後期計画に向けた課題」ともリンクしているので、コメントがあるとより具体的に理解できると思います。

- 【事務局】 分かりやすいようにお示ししていきます。
- 【A委員】 資料3の「②危機管理への対応」について、広域防災拠点の整備を進めつつありますが、これまで田んぼで保水力があった土地が、整備中は保水力が無くなるのではと危惧されます。広域防災拠点の完成後には対策されたものができると思いますが、工事が完成するまでに大雨などが発生した場合、水はどこに行くのか。完成までの危機管理が課題になるのではないのでしょうか。
- 【事務局】 いただいたご質問については、確認しておきます。
- 【会 長】 他になれば、目標ごとにご質問・ご意見をお願いします。
まずは、目標1に関連してご質問等がありますか。いま話題に出た広域防災拠点や土地利用などの分野になります。
- 【B委員】 とよやま女性の会の前年度の研修会では、ハザードマップの見方に関する町の出前講座を受講しました。知らないことばかりでした。水害の際にどこに逃げたらよいか意外と皆知りません。このような出前講座の活動は、ぜひ今後も進めてください。
- 【会 長】 町民が知っていないといけないことが意外と知られていないので、積極的に知らせてほしいという意見ですね。
- 【事務局】 住民への周知が足りないという意見だと受け止めました。ホームページにもハザードマップは掲載していますが、知られていないかもしれません。課題として認識し、周知を強化していきたいと存じます。
- 【会 長】 目標2「自然にも人にも優しい持続可能なまち」については、いかがでしょうか。
- 【D委員】 2-2「環境衛生・循環型社会」における可燃ごみの1人あたりの排出量が多いという課題について、事業所も家庭ごみで出しているところが多いと聞きます。事業所用のごみ袋をどこで買うのか、いつごみを出してよいのかよく知られていません。愛知県内でも下位ということは周知も課題として入れていただきたいと思います。
- 【E委員】 2-2の「プラスチック新法」というのは何ですか。
- 【事務局】 「プラスチック新法」は、世界的な海洋汚染が課題となっていることに対応して、国が新たに設けた法律です。これまでの「プラマーク」のあるプラスチックに加えて、その他のプラスチックも資源回収していくというものです。豊山町でも、収集の見直しを検討しているところ。他の市町村では新たな取り扱いを始めているところも出てきています。
- 【E委員】 資源集積所は地区が管理していますが、地区の負担が増えるのではないのでしょうか。
- 【事務局】 そういったことも勘案しながら検討していきます。
- 【F委員】 2-2の「飼い主のいない猫を増やさない取り組みとして不妊手術

支援を開始した」とありますが、このことは周知されていますか。

【事務局】

「広報とよやま10月号」で周知しています。

【E委員】

2-2の課題である可燃ごみが多い点について、町も町民も頑張っていると思いますが、それなのになぜ多いのでしょうか。行政はその理由をどのように考えていますか。

【事務局】

ごみ自体は減っているものの、他市町村と比較すると県内では下位にいる状況となっています。原因について特定するのは難しいですが、事業所がごみを家庭ごみとして出していることも1つの原因と考えられると思います。

【E委員】

資源回収を非常に頑張っているにも関わらず下位であるのは残念なので、ぜひ周知をお願いします。

【会 長】

町民の意識はごみの量にも反映されます。意識を変えていけるような施策が必要であると思います。

【G委員】

犬のふん害を減らす取り組みについて、「イエローチョーク作戦」の記載がありますが、見かけたことはありません。実態はどうなのでしょうか。

【事務局】

「イエローチョーク作戦」は、道路などに放置された犬のふんを丸で囲んで、ふんを放置した飼い主に知らせることでふん害を抑止していく取り組みです。令和2年度から実施していますが、豊山町の住民全体に広がっていないということもありますので、周知の必要があると考えます。

【H委員】

志水学区では見かけることがあります。

【会 長】

行政がやっていることがうまく周知されていないという意見であると思います。呼びかけをし、参加していただくということが大事だと思います。

【C委員】

資料2の3ページにおいて、審議会の全体スケジュールが掲載されています。次回は原案の確認とありますが、今の議論のように細かく整理していくのなら、このスケジュール通りで実施できますか。今回の審議会ですべて細かく精査する必要があるのでしょうか。

【事務局】

いただいたご意見や町民意識調査の結果を反映した原案を提示するのが次回の審議会の3月となります。原案を提示するまでもご意見をいただければと思います。

【会 長】

目標3「安全・安心で住みやすさを実感できるまち」についてはいかがでしょうか。

【D委員】

高齢者が今も多いし今後も増えてくると思います。3-1「交通機関」の課題で「高齢者の移動手段の確保が必要」とありますが、社会教育センターでふれあい食事会などを実施していますが、遠い人には遠い。バスも無料ではない。秋には期間限定の敬老パスが無料で利用

できましたが、年間無料にすることは難しいのでしょうか。

- 【会 長】 後期計画で反映できるかどうかは別として、何らかの形で反映できる場合もあります。ご意見として言っていただければよいと思います。
- 【D委員】 豊山タウンバスは、「manaca（マナカ）」などの交通系 IC カードを使えるようにならないのですか。
- 【B委員】 社会教育センターまで行けない方もいます。とよやまタウンバスが使えるといいのですが、本数も少なく、時間が合わない場合もあります。
- 【事務局】 高齢者の足の確保については、無料かどうかは別にして、課題ですので、後期計画では施策として打ち出していきたくと存じます。
- 【I委員】 ライドシェアなども普及してきています。ぜひ組み込んでいただきたいです。高齢者の免許返納も大事ですが、一方で、安心して車に乗り続けられるような施策も反映させられるとよいと思います。
- 【H委員】 3-2「消防・防災」の「防災ガイドブックの作成」とありますが、見やすく重宝しています。ただし、子どもたちが読みにくいので、子どもたちにも分かりやすく読めるものもあるとよいと思います。子どもたちも防災に何かしら関われると思います。
- 【C委員】 豊山小学校区で地区防災計画を2年かけて策定しています。自治会に依頼を出せば各地域の家庭とつながるごとができると思っていましたが、現在は、自治会も連絡先が分からなくなっており、こどもを全然巻き込んでいません。もったいないと思っております。
- 【会 長】 子どもをお客さん扱いするのではなく、巻き込んでいくことが大事だと感じます。小牧市で総合計画を策定した際は、子どもたちにも知ってもらいたいと総合計画の子ども版も策定しました。策定にあたっては、子どもたち自身にも手伝ってもらいました。大事な視点だと考えています。
- 【I委員】 4-1「助け合い、支え合う健康であたかなまち」について、加齢に伴い筋肉の量が減少していくサルコペニアの対策も必要とされています。子どものときに部活をやっているかどうかで、将来の健康につながるという研究結果もあります。子どもからの体力づくり・健康づくりの視点も入れてはどうでしょうか。
- 【会 長】 今後ますます関心の高い分野になるかと思えます。
- 【会 長】 目標5「いきいきと豊かな心を持った人を育むまち」についてはいかがでしょうか。
- 【B委員】 以前、社会教育センターでインスタグラムの講習会を受けましたが、Wi-Fi 環境がないので、データ通信量が非常に多くなってしまいました。役場などの公共施設にWi-Fi を入れていただくと非常に助か

ります。

【C委員】 5-1「生涯学習」の課題で部活動の地域移行についての記載がありますが、非常に大事だと考えます。現在、小学校は部活動がなくなっており、中学校でも地域移行に伴い活動量が減っています。重点的に検討していく必要があると感じています。

【H委員】 5-3「学校教育」について、子どもたちの状況として、インフルエンザなどの流行で休みになってしまうことがよくあります。毎月何かしらの病気で休んでいる状況です。小学校ではタブレットが配布され一人一台持っていますが、オンライン授業を受けられません。名古屋市では、学校を休むとオンラインで授業を見ることができると聞きました。オンライン授業などタブレットの有効活用について加えてほしいと思います。

【A委員】 5-5「スポーツ」について、町民体育大会のリニューアルについて記載があるが、どうだったのでしょうか。

【事務局】 荒天により中止となりました。

【C委員】 体育大会の実行委員を務めました。今回は、地域単位ではなく団体登録で競技に参加できるようしました。残りはオープン参加として、誰もが参加できる形を目指しました。

【A委員】 今までのやり方が悪かったのかどうか分かりません。うまくいっていたように感じていました。

【C委員】 従来地域対抗では、地区委員の方が選手を探してくるのが大変だとのお声がありました。そこで全自治会にアンケートを取り、2地区以外が地域対抗に反対でしたので方式を変えることとなったものです。結果としては、当初想定していた以上の申し込みがありましたので、手応えは感じました。

【会 長】 目標6「にぎわいを生み出す個性豊かなまち」についてはいかがでしょうか。

【E委員】 6-2「農業」について、農業経営の方はいなくなっていますが、用水路や堰、ポンプなどの農業施設の改修・維持は必要です。しっかりと農業施設の管理をしてほしいと思います。

【D委員】 豊山の特産品がないので出来るとよいと思います。

【F委員】 農業に限らず特産品はつくっていきたい。また、プレミアム商品券はずっと続けてほしいと思っています。

にぎわい施設は、北部施設と連携していくのですか。

【会 長】 にぎわい施設の整備は、豊山にとっては大きな変化だと思います。いかに取り組んでいくか、どうすれば“賑わい”を創出できるかが大事になってくると思います。

【C委員】 どこまで計画が進んでいるか把握したいので、できる範囲で情報を

提供していただきたいと思います。

- 【事務局】 現段階の豊山町の案としては、愛知県の基幹的広域防災拠点に隣接して、賑わい施設とアリーナを作りたいというところまでしか確定的なことはありません。北部市場に限らず、賑わい施設を作っていく上では事業所との連携は必須なので、具体的な施策を考えていきたいと存じます。
- 【C委員】 県はどのような動きになっていますか。
- 【事務局】 愛知県は、基幹的広域防災拠点を整備し、平常時は公園と消防学校として活用していくという方針となっています。地域との融合はこれから検討していくものと考えています。
- 【会 長】 目標7「住民と行政がともに考え、ともにつくる信頼のまち」についてはいかがでしょう。
- 【F委員】 田んぼがどんどん宅地化しています。新しい住民に自治会に入るお知らせはしているのですか。
- 【事務局】 転入された方に対して、チラシの案内と加入希望があるかどうかをお尋ねしています。また、加入希望がある方に対しては、地区委員の方より自治会の紹介をいただいています。
- 【D委員】 私の自治会だと、若い人が入らないことより、昔から住んで見える方が高齢を理由に抜ける場合が多い状況です。
- 【E委員】 新しいコミュニティ形成の取組は何か案があるのですか。
- 【事務局】 コミュニティの枠組み自体を検討していくものです。機能別のサークル的なコミュニティの在り方もあるかもしれません。町としても重要な問題と考えていますので対応していきたいと存じます。
- 【C委員】 コミュニティも自主防災会などの他の団体も高齢化が進展しています。新しい人たちも入っていないし、高齢者も抜けている状況です。目標7に限らず、全体を通じて、若い人の参加をどう呼びかけていくかは課題であると思います。
- 【会 長】 私の地域では、小学校区の中に全部で4つの町内会がありますが、夏祭りや音楽祭、美術展といったイベントを校区内の町内会合同で実施しています。お金は町内会が出して、運営は自主的にやってくれる実行委員会が担っています。町内会単位では難しいが、校区くらいの単位でやるとできることもあると感じます。
- 【D委員】 実施主体の規模よりも、自主的に声をあげてやりだす人がいれば何とかかなります。そこが一番難しい。
- 【会 長】 そのような人を地域やまち全体で育てるという視点も重要です。そのような人を待っているだけでは、立ち行かなくなってしまう。
- 【C委員】 こども会連絡協議会の理事は10年前は60代以上の人が多かったけれど、今は10代からいます。どう変えていったのかは、(こど

も会連絡協議会の) 会長が詳しいのでぜひ話を聞いてみてください。

【会 長】 私の住んでいる町内では「ぶらぶら祭り」という大人のお店屋さんごっこをしています。自分の得意なことで家の庭先や駐車場でお店をやる取組です。それがあから、引っ越ししたいという人も出てきています。ぜひ別枠で議論ができればと思います。

【会 長】 全体を通じて言い忘れたことはありませんか。

【H委員】 町内の予約システムがオンラインに対応しつつありますが、まだ紙が必要なものがあります。若い人の活動を活発にしようと考え、わざわざ窓口まで来なければならないのは、子どもがいる人たちにとっては腰が重くなってしまいます。少しずつ変えていただければと思います。

【会 長】 コロナを乗り越えて、せっかく得た様々な知恵を活かしていただきたいと思います。

【D委員】 資料3 別紙の3頁「若者、子育て世帯のまちの評価」について、「今後の居留意向」は、いつ時点のものですか。経年比較はどうなっていますか。

【事務局】 令和2年度より毎年調査しています。

【会 長】 いずれ経年でみた時の分析を出してください。

【B委員】 役場との特に企画課とよくやりとりをしますが、すべてメールで済んでおり、便利にはなっていると思います。

【会 長】 協議事項は以上です。

3 その他

【会 長】 その他、何かありますか。

【委 員】 (発言なし)

【事務局】 第2回の審議会は、来年の3月をめどに豊山町役場で開催予定です。よろしくお願いたします。

以上